

2022年12月30日

各位

株式会社三井住友銀行

日本宅配システム株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、日本宅配システム株式会社（代表取締役：浅井 泰夫）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、日本宅配システム株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 宅配ボックスの供給拡大を通じた、宅配便の再配達削減・物流効率化、宅配ボックスのリサイクルの促進

目標 8 働きがいも 経済成長も	8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。
目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

- ② 集合住宅等におけるEV充電システム「i-CHARGER30」の設置促進を通じた、電気自動車普及促進への貢献

目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う
-----------------------------	--

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



SDGs8「戸別宅配ボックス」

集合住宅の各戸玄関にも宅配ボックスを設置し、居住者の利便性と物流業界の生産性を向上



SDGs7「i-CHARGER30」

深夜電力を有効活用して適正で公平な応益負担。エネルギーの消費効率を改善するEV充電器



SDGs3「調音・整音製品の取組み」

音声案内からデジタルガイダンスへ切り替え。サウンドソムリエ資格者が集合住宅の住環境を改善します

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことで

以 上